

## 社友会武豊支部同好会「ファイザー衣浦会」第16回総会だ

恒例の、「ファイザー衣浦会第16回総会」が、5月24日(火)、昨年の半田市「おそめ」から河岸を変え、中部国際空港が眺望できる美浜町上野間の高台にある「八百賢新館」で開催されました。

当日の参加者、男性29名、女性21名がそれぞれ半田・武豊発2台のマイクロバスに分乗し、「八百賢新館」に午後6時10分到着。

早速、会費の徴収後、記念写真の撮影を行い、司会者(土井世話人)により総会が開会となり、冒頭、東日本大震災での被災者に対し、一分間の黙祷を行いました。

高橋会長より、当会員の親戚、知人の東日本大震災での被災者の有無について質問があり、友人被災の回答がありました。

引き続き世話人の勇退(垣内幸二郎・後藤節夫氏)と新規世話人(山田豊・黒野茂夫氏)の紹介がありました。



ファイザ衣浦会第16回総会



又、今回の総会より新会員となった、渡辺宝恵さんの紹介が行われた。

次に、昨年秋の第12回南紀すさみ温泉旅行の会計報告が、事務局(高橋世話人)よりあり、出席者の承認が得られました。

いよいよメインイベントの懇親会にはいり、山田豊世話人の音頭で乾杯があり、乾いた喉に冷えたビールが注がれ、「八百賢新館」自慢の料理に舌鼓をうち、おしゃべりタイムとなりました。

食事も半ば、川辺世話人による余興(ビンゴゲーム、カラオケ)が始まり、ビンゴゲームで賞品が当たるたびに、日頃、家庭では出ない歓声が起こり、久しぶりに遠慮なく、声高に、ストレスを発散し、食事も普段の倍近い量を食べ、楽しい一時を過ごすことができました。

会も9時前となり、山田豊世話人の武豊一本締めで会の終了を宣言し、秋季旅行の再会を楽しみに、マイクロバスで帰途につく。(記:高橋一夫)

ファイザー衣浦会第16回総会

